

テ貨物回漕ニ利用シノル形跡アリタルヨリ本件ハ所轄署ニ於
テ警告ヲ與ヘ置キタルク一方東京湾支那各分會等ヨリ寄附米
及寄附金等ヲ受ケテ氣勢ヲ昂ケ閩谷組合長小松原光太郎等ノ
指導ヲ受ケテ爭議團本部(幫留船)ヲ移動シテ持久狀ヲ期待
シ居タルカ數次ノ交渉進展セサルヨリ團員中ニハ別途就職シ
テ爭議費用ノ捻出ニ努メソフ、アル状態ニテ昨今漸ク港急ノ色
アリ殊ニ南以爭議(別報)兼生以來應援ノ不充分ハ資金ノ缺
乏ト相俟フテ統利漸ク萎レントレワ、アリ

二、事業主側

前報後事業主ハ本報談解決ノ交渉方々芝區兼房町五、平護士福
留弘仁ニ依頼シタルヨリ客月二十九日店主定ニ於テ事業主立
會ヲ該團側岡谷 博外船夫五名ト會見シ寄傷者側ノ要求タル
事業継続又ハ船舶貸與方ハ之ヲ拒絕シ經營難ヲ繰連シタル後
徑束船夫ニ對スル百十四圓餘ノ貸與金ハ之ヲ免除シ更ニ五十

圓ヲ支給スベキニ付船舶ノ返還方々迫リタルク寄傷者側ハ之
ヲ拒絕シ物別シトナリ爾來毎日ノ如ク交渉クナレワ、アル也
寄傷者側ハ事業主ノ誠意アル回答ヲ待ト稱シ居ルノミニニ
シテ更ニ進展メス事業主亦強硬ナル態度ヲ持シ居レリ
右及中(通)報候也